

教職員の皆さんへ

サマーセミナー受講生募集

平成26年度教職員サマーセミナー案内

夏季休業を利用して、今日的な教育課題についての見識を深め、教職に関わる教養を高め、幅広い教師力を身に付けませんか。明日の教育活動に役立つ講座を用意しています。

講座案内

10講座を開きます。

詳細は、

- 宇都宮大学教育学部のホームページ

<http://ks001.kj.utsunomiya-u.ac.jp/>

- 総合教育センターのホームページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

に記載されています。

対 象 者

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教職員

会場と時間

宇都宮大学において、9時30分から16時まで

申込み方法

7月1日(火)までに、次のいずれかの方法により申し込んでください。

- ① FAXによる申込み

2ページ目のFAX送信票に必要事項を記入して送信してください。

FAX番号：028-649-5334

- ② メールによる申込み

勤務校名、同電話番号、同FAX番号、申込者氏名、研修区分、

受講希望講座番号、受講希望講座名を明記して次のアドレスに送信してください。

ssc-1@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

旅 費 等

旅費は個人負担になります。また、受講する講座によっては、教材費がかかる場合もありますので、御承知おきください。

そ の 他

- ① このセミナーは、初任者研修、教職2～5年目研修、養護教諭2～5年目研修、学校栄養職員2～5年目研修、教職10年目研修の選択研修の対象にもなっています。

- ② 会場の宇都宮大学には自家用車で入構できます。大学へのアクセス及び構内案内は、宇都宮大学教育学部ホームページで確認してください。

当日、正門案内所でもご案内いたします。

- ③ このセミナーに関する問合せは、宇都宮大学教育学部スクールサポートセンター（028-649-5272）で承ります。

主催 宇都宮大学教育学部・栃木県総合教育センター

平成 26 年度 教職員サマーセミナー受講申込み FAX 送信票

送 信 先	宇都宮大学教育学部 教職員サマーセミナー担当 宛			F A X	0 2 8 - 6 4 9 - 5 3 3 4	
発 信 元 (申込者)	勤務校名	立			学校	
	電話番号	— —		F A X 番号	— —	
	申 込 者 氏 名	(ふりがな)				
	研修区分	選択研修として受講を希望される方は、該当の口欄に ○ をご記入ください。 ☐ 初 任 者 研 修 ☐ 教 職 2 ～ 5 年 目 研 修 ☐ 養 護 教 諭 2 ～ 5 年 目 研 修 ☐ 学 校 栄 養 職 員 2 ～ 5 年 目 研 修 ☐ 教 職 1 0 年 目 研 修				

希望	講座 番号	講 座 名	分 野	講 師	実施日	定員	対象教員	その他
	1	外国人児童生徒教育の問題と創造： 事例をもとに日本の学校への適応を考える	教育学・ 国際理解教育	丸山 剛史	7月29日 (火)	25名	小・中・高・特	
	2	楽しみながら学べる理科実験	中学校理科 1分野	南 伸昌	7月29日 (火)	25名	中	㊦
	3	道德授業の資料と発問	道德教育	上原 秀一	7月30日 (水)	30名	小・中	
	4	発育期における体育・スポーツ指導 のあり方	保健体育	加藤 謙一	8月 1日 (金)	20名	小・中・高・特	㊦
	5	作文指導ワークショップ	国語教育	森田香緒里	8月 7日 (木)	20名	小・中・高・特	㊦
	6	校内授業研究を中心とした学校改善	教育学	松本 敏	8月 8日 (金)	50名	小・中・高・特	
	7	授業に役立つ情報メディアの活用と 学習指導	情報教育	川島 芳昭	8月11日 (月)	28名	小・中・高・特	
	8	放射線について体験的に学ぼう	環境教育・ 理科教育	山田 洋一	8月21日 (木)	20名	小・中・高・特	
	9	障害の重い子どもとの教育的係わり合い	特別支援教育	岡澤 慎一	8月22日 (金)	50名	小・中・高・特	
	10	日本人のためのヨーロッパ史入門	歴史学	下田 淳	8月22日 (金)	50名	小・中・高・特	

☆注意 ㊦を付した講座については、ご準備いただくものや参加に当たってご注意いただくことがありますので、ホームページをご確認下さい。

(備 考)

- 参加を希望する講座の希望欄に○を付けてください。(複数選択可)
- 各講座の詳細は、宇都宮大学教育学部または総合教育センターのホームページでご確認ください。
- 申込期限は、7月1日(火)です。
- 定員を超えた場合は、選択研修として受講される方を優先し、他は先着順とします。多少の増員をする場合もあります。
- 受講の可否は、7月中旬頃に各所属長に通知します。
- 申込みの際は、本送信票をコピーしてお使いください。

講座案内

会場・開講時間はいずれも、
宇都宮大学・9時30分～16時です。

7月29日(火)

分野:教育学・国際理解教育

1. 外国人児童生徒教育の問題と創造：

事例をもとに日本の学校への適応を考える

講師：丸山 剛史、田巻 松雄（国際学部）、若林 秀樹（国際学部）

会場：教育学部A棟2F 小会議室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員：25名

準備等：特になし

概要： 経済活動のグローバル化と外国人・移民・留学生の流入及び定住に伴い、問題が顕在化している外国人児童生徒教育問題について、①背景と社会問題（田巻）、②教育現場での対応と教員の果たす役割（若林）、③日本の学校生活への適応を超えた異文化交流（丸山）の3つの視点から検討し、多文化共生のあり方を考えます。意見交流も重視していますので、話す準備をしておいてください。

7月29日(火)

分野:中学校理科1分野

2. 楽しみながら学べる理科実験

講師：南 伸昌

会場：教育学部理科棟3F 理科教育学学生実験室

対象教員：中学校

定員：25名

準備等： 白衣、安全めがね（何れも貸し出し有）、タオル。
実験しやすい、楽な格好で来て下さい。内容が一部変更される場合もあります。

概要： 中学校理科1分野における次の内容を取り扱う。
光：蜃気楼、シュリーレン現象など、身近な屈折現象に関する実験。「像」とはどういうものか。レンズの性質。運動とエネルギー：力表示器「Fi-Cube」、ビースピの活用。水溶液とイオン：酸・アルカリとはどういう性質か。中和反応を目で見る実験。電気泳動。化学電池の仕組み。

3. 道徳授業の資料と発問

講 師：上原 秀一

会 場：UUプラザ2F コミュニティフロア

対象教員：小学校・中学校

定 員：30名

準備等：特になし

概 要： 小・中学校の道徳の授業は、道徳的实践力を育成するために行われています。道徳的实践力を育成するとはどういうことでしょうか。道徳的实践力を育成するために、どのような資料を使ってどのように発問すべきでしょうか。児童生徒の反応にどう応じるべきでしょうか。具体的な材料を使ってこれらの問題を考えていただきます。小学校低学年、小学校中学年、小学校高学年、中学校に分かれてグループワークを行っていただきます。

4. 発育期における体育・スポーツ指導のあり方

講 師：加藤 謙一

会 場：教育学部A棟2F 小会議室 及び 第一体育館

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：20名

準備等：トレーニングウェア（着替え等）、体育館シューズ、はさみ。
講義だけでなく、実技も予定しているのでケガには十分注意してご参加下さい（見学可）。実技内容はハードではないのでご安心下さい！

概 要： 現在の子どもが置かれている環境・実態を示しながら、子どもの体力低下に歯止めをかけるための具体的な考えやその方法について紹介します。また、基本的な動作に関する観察の観点を示し、指導者に必要な運動観察力を高める演習も行います。さらに基本的な動作に関する動きの実技・指導を通して体育授業を効果的にすすめる方法についても扱います。

8月7日(木)

分野:国語教育

5. 作文指導ワークショップ

講 師：森田 香緒里

会 場：地域連携教育研究センター A講義室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：20名

準備等：特にありませんが、セミナーの最初に日頃の作文指導で感じてらっしゃる疑問や工夫等について語っていただく予定です。また、当日は実際に作文を書いていただいて受講者間で相互批評を行っていただきます。

概 要： 作文を苦手とする児童生徒は多く、また作文指導に不安を抱く教員も多い。本セミナーでは、日頃の作文指導に関する疑問や困難について語り合い共有するところから始める。

そして、表現技術を明確化した指導法や海外での作文指導法などを紹介し、実際に受講生にも作文課題に取り組んでいただく。さらに作文を相互評価する活動を通して、各学校現場で生かすにはどのような工夫が必要か等について議論していただく予定。ワークショップ形式で作文指導に向き合う一日です。

8月8日(金)

分野:教育学

6. 校内授業研究を中心とした学校改善

講 師：松本 敏

会 場：教育学部理科棟2F 大会議室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：50名

準備等：特になし

概 要： 一人一人の教員の力量を高めることが大切なのはもちろんですが、それだけでは学校全体の力は高まりません。どうすれば同僚性を高め、個々の力を結集できるのでしょうか。校内授業研究を継続することで学校が活性化する道筋を、私が実際に関わった小・中学校の経験をもとに考えます。

8月11日(月)

分野:情報教育

7. 授業に役立つ情報メディアの活用と学習指導

講 師：川島 芳昭、石川 賢

会 場：教育学部附属教育実践総合センター計算室（2F）

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：28名

準備等：特になし

概 要： 学校教育の情報化や情報教育の内容・方法について具体的な事例を基に検討します。さらに、コンピュータ・ネットワークなどの情報メディアや、学習指導用のコンテンツを授業で活用するための方法を検討します。

8月21日(木)

分野:環境教育・理科教育

8. 放射線について体験的に学ぼう

講 師：山田 洋一、堀田 直巳

会 場：教育学部A棟2F 2201教室 及び 基礎物理学実験室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：20名

準備等：特になし

概 要：講義 (1) 文科省他の資料紹介、栃木県内の測定事例報告（山田・堀田）
(2) 放射線とサーベイメーターの原理説明（堀田）

体験1 教材を用いた放射線測定実習（堀田・山田）

体験2（実験室） 放射線を見る（霧箱）実験（堀田・山田）

ワークショップ及び講義（教室）

(1) 体験活動1、2のまとめ（堀田・山田）

(2) 受講者による話し合い（ワークショップ）

(3) リスクとベネフィット、ホルミシス（山田）

(4) 質疑応答

講座のまとめと事後アンケート（山田）

8月22日(金)

分野:特別支援教育

9. 障害の重い子どもとの教育的係わり合い

講 師: 岡澤 慎一

会 場: 教育学部A棟2F 2201教室

対象教員: 特別支援学校教員を主たる対象とするが、限定するものではない

定 員: 50名

準備等: 特になし

概 要: ここでは、障害が重い子どもとの教育的係わり合いにおいて重要になる視点について、長期間にわたる教育実践の経過に関する映像資料をふんだんに用いながら検討を進める。特に、コミュニケーションにおける共同性と相互性、子どものイニシアチブ、探索活動および実践と省察の循環過程などに焦点をおく。こうした取り組みのなか、障害が重い子どもへの教育は、教育の原点であるといわれる意味を見出していただければと思う。

8月22日(金)

分野:歴史学

10. 日本人のためのヨーロッパ史入門

講 師: 下田 淳

会 場: 教育学部A棟3F 2301教室

対象教員: 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員: 50名

準備等: 特になし

概 要: 日本人がヨーロッパ史を理解するために、具体的なテーマを選択して分かり易く話します。テーマは以下の通りです。

【テーマ】

フランク王国、封建制、キリスト教、サイエンス、
ナショナリズム、資本主義、ナチズム、アメリカとソ連